

薬物乱用防止・不審者対応

防犯教室

2018. 12. 11(ヨシクマ新聞より)

不審者からの逃げ方も

五郷 児童生徒が防犯対応学ぶ

熊野市五郷中学校(高田有治校長)で11日、薬物乱用防止教

室と不審者対応訓練 郷小学校の児童らが

防犯意識を高めた。
熊野警察署生活安全刑事課の尾崎規文係長ら署員を講師に招き実施。中学生3人と五郷小5、6年生4人、教職員らが参加した。

まずは薬物乱用防止教室が行われ、児童生徒が薬物乱用の危害に対する正しい知識などを教わった。尾崎係長は平成29年に熊野市でも4人が薬物により検挙されていることや、全国的に大麻が若者世代に拡大していることを説明。大麻を所持していると罪になることや、危険ドラッグなど薬物乱用が心身に及ぼす影響などを語った。

DVD「薬物はすべてを壊す」も視聴。児童生徒らは薬物乱用が自分だけでなく周囲の人の人生を狂わせてしまうことなどその恐ろしさを改めて知り、誘惑への対処法を身につけていた。

また、不審者対応訓練では、連れ去り、テコの原理や体動も示していた。

は不審者に腕を掴まれた時や、後ろから抱きつかれた場合の護身術を実技指導。引つ張られた場合は力づくで逃げるのではなく、相手の引っ張る力を利用して、テコの原理や体動も示していた。



【腕をつかまれた時の対応を練習】

【不審者対策の護身術を実演する尾崎係長(左)と高田校長】



【薬物乱用の恐ろしさを学ぶ児童生徒ら】



薬物乱用防止に対する正しい知識を身につけるとともに、不審者に会った時の対応を理解することを目的に、「薬物乱用防止・防犯教室」を実施しました。当日は、五郷小5・6年生も参加しました。